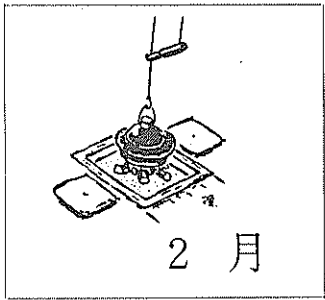


立春にこぎつけた冬の終りのこの月を「如月」(きさらぎ)といいます。衣をさらに着る、という意味と、季節の変わり目の陽気をさらに迎えるので「気更に来たる」という呼び名ができたものと伝えられます。

この季節の変わり目を「節分」といいます。もとは立春の前日だけでなく、立夏、立秋、立冬の前日も節分といって、それぞれその日を祝ったようですが、立春の前日の節分だけは、冬の季節から春の季節に移る公転点。つまり1年の終りに当たるのでとくに重んじられていました。

「福は内、鬼は外、子どものころ、節分の夜に鬼が来たら豆をぶつけて追い払う……という行事がなんとなく神秘的で、空が暗くな



るのを待ちかね、なんべんも戸外のようなすわうかがった思い出をお持ちの人もおられるでしょう。

2月という月は、俗に逃げる月といわれるくらい、日のたつのが早く、あっという間に過ぎていってしまいます。

農家では、間もなく始まる農業への準備など、いそがしくなるのは目に見えてきました。

一般のご家庭でも、お子さんがたの進級、進学から卒業、就職など、心配とよろこびが重なって、いつもの月とは違った気つかれる月でしょう。

とくに進学するお子さんをもつご家庭では、いまの受験制度を、もう少しなんとかしてやりたいと思う気持ちで、なんとも落ちつかない毎日です。

わが町を生き抜く



「なんちゃあしよらんと、ひやいですろう……。こうやって仕事しよたらぬくいですきに。」
 なんの変てつもない言葉の底の八十六歳の年輪のたくましさ。
 「ここは里改田の三谷シゲラさんのお宅。一昔前ならどこでも見かけたこませ(手動式)も編み機(?)でも編みをしている。
 「ハイ……腰がまがって歩いたり、動く仕事はできません。朝めしがすんだら、すぐここにきてすわりますが、なにもせずにあたすわっているのも嫌いですきに、こうやってこもを編んでおります。幸い手はこうこうは動きますから(と、こも編みの動作)。」
 おだやかな冬の午後。
 三谷さんのすわっている所は、もう日かげになっていました。

◆◆◆今月のページ◆◆◆

★きょうの話題・明日の話題……杉本市政スタート……(3)

市長・議長の新春放談

いま、出発のとき……(4)~(6)

市長・広範な意見で市の未来像を
議長・市議会の状況を市民に公開

ご挨拶・金堂前市長
親子クイズ……特賞に細木慶子さんら10人……(7)

12月定例市議会……一般会計2億3千万円を追加……(9)

お知らせのページ

国民年金の受給権者は現況届を／「わが家の家計簿」の体験談募集／生活再建のために貸付金の利用を／保育所への入所の申請……(10)(11)
 児童手当の支給範囲拡大／農業委員の選挙人名簿の申請／お年玉賞品の引換え

部落解放への道⑬ 解放令のもたらしたものと……(8)

〈こくちばん〉
 検診、休日在宅医、不燃物収集など……(12)

今月の顔・過去から明日へ、自分を見つめて……成人式

三広報 1日…最高裁、下級裁判も法令の違憲立法審査権を有する判決(昭25)

杉本市政スタート

一月四日は市役所のご用始め、四十九年の仕事始めとともに、ことしは杉本市政のスタートの日。
 午前八時三十分、市役所玄関に市議会議員や職員らが待ちうけるなか、杉本恒雄新市長は市長車から長身をのっせり。いくぶん緊張した表情で初登庁。拍手のなるなかを土居議長、宇賀収入役とたたい握手をかわしながら、「白息を豊かに吐いて登庁す。俳人市長らしく初登庁の感想を披露して市長のイスにつきました。
 幹部職員らの対応でイスのあたたまる間もなく、新春の走りぞめ、真新しい白の運動靴にはきかえた市長、収入役、浜田一雄体育協会副会長を先頭に市職員、香長中、齋ヶ池中生徒ら約二百人が新春の町へ健康をふりまきました。

人事などは

現体制を維持

一汗かいたところで午前十時か



市民に期待と不安

地球がどこへ行くかわからないという人間の歴史はじまって以来の大変な時代だ。南国市はそんな中で民主市政を選んだ。その前途は多難で十分覚悟して登庁した。しかし、むかえてくれたみなさんの暖かい笑顔を見て「よし、これ

市民の期待に応えたい。四百余人の職員を一つに合せて四万三千市民に民主市政はこんなにもいいものだということを知ってもらわなければならない。」と、自分について聞かせるように訓示。職員を代表して宇賀収入役から

ら市職員への市長訓示。
 「いま、日本は人心も経済も破壊し、明日に希望をつけない、

でやれる」と確信した。多くの人が新しい市政への大きな期待と不安をもっている。これは新しいものができたとき必ず起る期待と不安だ。このためにも現体制をくずさず人事やその他の問題でも金堂さんのやった市政を正しく受けつぎ、正しく発展させ、一つ一つ

初仕事は助役
 教育長の選任

「市長の意をよく体し、市長を中心に職員一人ひとりがかたいきすなで結ばれ、まろやかな団結で市民の負担に慮えたい」と決意が述べられました。

恒星は雅号

本名は恒雄

沢岡市会議員とともに徳橋氏を訪問。「あらためて助役として市勢発展のため力をかしてほしい」とお願いしましたが、徳橋氏も即答をされたといわれ、助役、教育長の選任が、まず杉本市長の仕事はじめになりそうです。

助役・教育長は空席のまま

徳橋一郎助役、利岡富次教育長は、昨年の末、一身上の都合で金堂市長に辞表を出し受理されました。このため杉本市政のスタートは助役、教育長空席のまま。杉本新市長は辞表が受理されたあと昨年十二月三十日、井口、小

このような例は、他にもいくつもありますが、土居選挙管理委員会局長は「立候補の届出は原則として戸籍名ですが、雅号やペンネームなどの方で一般によく知られている場合、選挙長に届け出て適当と認められれば、ペンネームや通称名を使うことができます。」と話しています。

例えば、落語家の立川談志、パンパカパーンの横山ノックなどは芸名で立候補。当選してからは本名の松岡克由、山田勇として国会議員になったなどの例があります。

きょうの話題・あすの話題